

ポスト「3.11」に向き合う ～7年目の春に～

東日本大震災から7年が経とうとしています。大手メディアでの関連報道はすっかり陰を潜めた印象ですが、「3.11」の被害が未了であることは明らかなです。日本ペンクラブ「子どもの本」委員会では2012年から毎年、東日本大震災と原発の問題について、考え合う場を作ってきました。地震、津波の被害、そして何より福島第一原発事故は、年月を重ねる中で、その時々、困難を多くの人びとに与えているはず。その現状を知り、その上で子どもの本にできること、為すべきことを考えていくために、今年もフォーラムを開催します。

日 時： 3月10日（土）午後2時00分～午後4時30分

会 場： 青山学院女子短期大学 教室 N202

対 象： 一般（中学生以上）

参加費： 無料

定 員： 150名（先着順）※事前申込みが必要です（申し込み方法は裏面）

開会あいさつ 森絵都（作家、日本ペンクラブ常務理事）

第一部〈講演〉「被曝のその後、奥の細道」

ドリアン助川（作家、日本ペンクラブ「子どもの本」委員長）

公表される線量は信用できるのか？ 関東から東北はどれだけ被曝したのか？

本当のことを知るために、福島第一原発のメルトダウンから1年が過ぎた2012年、ドリアン助川が自転車に乗り、『奥の細道』の全行程2300キロを旅した。

リュックサックには空間線量計が入っている。松尾芭蕉の足跡を辿りながら各地で計測。

廃業した農家や、行く場のない子どもたちを抱え困窮している養護施設にもインタビューを試みた全記録。

今回は計測した線量を明らかにしつつ、東京から岩手・平泉までの旅の模様を、写真を交え、伝えます。

また、汚染地域がその後どうなったのか、最新の情報も併せて紹介します。

第二部〈シンポジウム〉「書いた・書いてる・書きたい・書いて！」

古内一絵 濱野京子 芝田勝茂 / 司会・西山利佳

『フラダン』で、福島にある高校のフラダンス部を舞台に原発事故による様々な事情を秘めた高校生たちの姿を生き生きと描いた古内一絵。『石を抱くエイリアン』『ことづて屋』シリーズ『バンドガール！』などで

「3.11」以降の世界を様々な作品に反映させてきた濱野京子。『きみに会いたい』で原発事故を予感させ、

『空母せいたま小学校、発進！』『ぼくの同志はカグヤ姫』でポスト「3.11」の日本を背景に作品化した芝田勝茂。

以上三人の作家に、児童文学評論家の西山利佳の司会によるシンポジウム

主催： 一般社団法人 日本ペンクラブ

後援： 一般社団法人日本国際児童図書評議会、一般財団法人出版文化産業振興財団

<出演者プロフィール>



ドリアン助川 (どりあん・すけがわ)

1962 年東京都生まれ。作家、詩人、道化師、ミュージシャン。絵本『クロコダイルとイルカ』（絵・あべ弘士 じんじん制作委員会 2013 年、けんぶち絵本の里大賞受賞）、『あん』（ポプラ社 2013 年、全国感想画中央コンクール指定図書、河瀬直美監督映画「あん」は、2016 年カンヌ国際映画祭ある視点部門でオープニング上映され、世界 45 カ国でも上映）、著作、CD、テレビ・ラジオ等幅広く活躍。



古内一絵 (ふるうち・かずえ)

1966 年東京都生まれ。作家。映画会社退職後、フリーの中国語翻訳者として教材本の編集、テレビドラマの中国語監修等を務める。2010 年、第 5 回ポプラ社小説大賞特別賞を受賞。翌 2011 年『快晴フライング』（ポプラ社）と改題して出版され作家デビュー。『フラダン』（小峰書店 2016 年）、「マカン・マラン」シリーズ（中央公論新社）ほか。



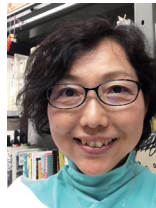
濱野京子 (はまの・きょうこ)

1956 年熊本県生まれ。作家。『トーキョー・クロスロード』（ポプラ社 2008 年）で第 25 回坪田譲治文学賞受賞。『石を抱くエイリアン』（偕成社 2014 年）、『ことづて屋』1～3（ポプラ社 2015～2017）ほか。絵本翻訳に『はね』（曹文軒作／ホジェル・メロ絵 マイティブック 2015）がある。



芝田勝茂 (しばた・かつも)

1949 年石川県生まれ。作家。『夜の子どもたち』（福音館書店 1985 年→パロル舎 1996 年）、『きみに会いたい』（あかね書房 1995 年）、『空母せたたま小学校』シリーズ全三巻（そうえん社 2015 年～2017 年）、『ぼくの同志はカグヤ姫』（ポプラ社 2018 年）ほか。「縄文」サマーキャンプ主催など多彩に活動している。



西山利佳 (にしやま・りか)

1961 年宮城県生まれ。青山学院女子短期大学子ども学科准教授。評論集『〈共感〉の現場検証』。共編著『わたしたちのアジア・太平洋戦争』全三巻（童心社 2004 年）、『明日の平和をさがす本 300』（岩崎書店 2017 年）ほか。

【お申し込み方法】

希望参加者 1 名につき 1 通をご記入の上、いずれかの方法でお申込みください。

① 電子メールでのお申込みの場合は、タイトルを「ポスト 3.11」とし、本文に、氏名、年齢、電話番号をお書きください。送付先 secretariat03@japanpen.or.jp

② 往復はがきでのお申込みの場合は、「往信用裏面」に氏名、年齢、郵便番号、ご住所、電話番号をお書きください。

「返信用表面」に返信先の郵便番号、住所、氏名をお書きください。

送付先 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町 20-3 日本ペンクラブ「ポスト 3.11」係

※ 折り返し入場整理券をお送りいたします。2 週間以内にメールまたは返信はがきでの連絡がない場合は、恐れ入りますが下記問い合わせ先にご連絡ください。

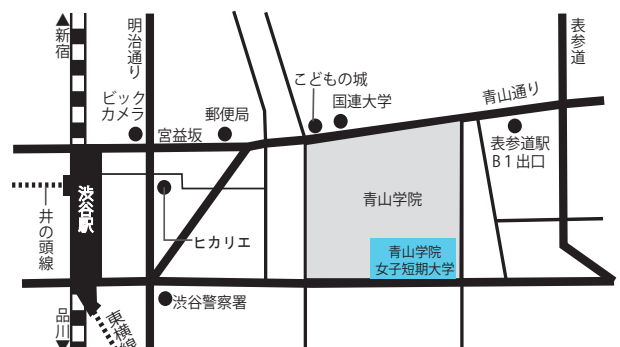
会場地図

〒150-8366 東京都渋谷区渋谷 4-4-2 5

JR 山手線・埼京線、東急線、京王井の頭線、

東京メトロ副都心線「渋谷」駅より徒歩 15 分

東京メトロ銀座線・千代田線・半蔵門線「表参道駅」より徒歩 8 分



お問い合わせ先：日本ペンクラブ事務局 電話 03-5614-5391